

平成 2 2 年度

公立大学法人 業務実績評価書

平成 2 3 年 8 月

福岡県公立大学法人評価委員会

目 次

年度評価の考え方	1 ページ
各法人の評価		
1 公立大学法人九州歯科大学		
(1) 全体評価	2 ページ
(2) 項目別評価	3 ページ
2 公立大学法人福岡女子大学		
(1) 全体評価	8 ページ
(2) 項目別評価	9 ページ
3 公立大学法人福岡県立大学		
(1) 全体評価	15 ページ
(2) 項目別評価	16 ページ

年度評価の考え方

1 項目別評価（中期目標項目別評価）

評価委員会は、法人から提出された業務実績報告書等を基に、業務の実績等について調査・分析を行う。

これらの調査・分析を踏まえ、中期目標の項目（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価、情報公開、大学改革の推進（公立大学法人福岡女子大学のみ））ごとに、中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、5段階で評価する。

- 5：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
- 3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
- 2：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。
- 1：中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価を踏まえ、中期目標・中期計画の進捗状況全体を総合的に評価する。評価は、業務の実施状況、財務状況、法人のマネジメントの観点から、記述式で行う。

組織や業務運営等に係る改善すべき事項があれば記載する。

※ 評価委員会の評価は、各法人が中期計画において設定した業務実施の計画や達成目標等を踏まえて行なったものであり、法人間の相対評価をしめすものではない。

公立大学法人九州歯科大学

I 全体評価

1 総評

公立大学法人九州歯科大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、先端的な歯科医療の知識・技術を教授するとともに、高齢者の治療や健康管理指導ができる能力、患者の痛みを理解し、円滑な意思疎通ができる能力を身に付け、歯科保健医療の分野において活躍する優秀な医療人を育成することを最も重要な使命としている。

法人化5年目である平成22年度の評価にあたっては、前年度の評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目7項目中6項目（教育、研究、社会貢献、財務、評価、情報公開）について「順調に進んでいる」と評定、1項目（業務運営）について「やや遅れている」と評定した。

なお、業務運営については、安全管理に関して、附属病院を有することもあり課題解決を急ぐ必要があることから厳しい評定とした。進捗が遅れている項目については、早急に取り組まれない。

以上のことを踏まえ、公立大学法人九州歯科大学の平成22年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

平成18年度に法人化し6年目を迎え、中期目標期間の最終年度に入っている。これまでの業務実績の分析・評価結果を踏まえ、今期中期目標の着実な達成に努められたい。

歯科医療の高度化や高齢化社会の進展等、歯科保健医療を取り巻く環境や社会的ニーズが変化する中、九州歯科大学の理念の実現を目指して、教育・研究はもとより社会貢献の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献に関する業務の実施状況については、順調に進捗している。

教育について、臨床基礎教育の統合化や臨床実習システムにおける参加型実習の比率向上など、教育の質の改善に努めている。歯科医師国家試験合格率が向上しており、補講による試験対策等の成果として認められる。

平成22年度に開設した口腔保健学科では歯科基礎科目において、歯学科との合同授業を行い質的向上を図っている。今後も教育内容の一層の充実を図り、優秀な歯科医師及び歯科衛生士の育成に努められたい。

なお、学生による授業評価が全般的に低下しており、分析と対応が望まれる。

社会貢献については、e-learningを活用したりカレント教育のコンテンツ数を増加させており、今後の更なる充実を期待する。

3 財務状況

財務の状況については、附属病院経営の改善、自己収入の増加、経費の節減のそれぞれの取組において、順調に進捗している。

財務運営にあたっては、今後ともより一層の経営努力に努めるとともに、適切な予算管理と戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。

4 法人のマネジメント

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントの状況については、業務運営にやや遅れが認められるものの、おおむね順調に進捗している。

業務運営については、安全対策の実施に早急に取り組む必要がある。

今後とも、事務局機能の強化に努めるとともに、運営体制の改善、PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルの確立、情報公開の推進に一層取り組まれることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

(1) 地域の発展に貢献する歯科医師及び歯科衛生士の育成

- ・全ての授業科目のシラバスを検証し、授業内容の改善に取り組んだことを評価する。
- ・補講等の指導を行うなど、継続的に歯科医師国家試験対策を強化したことにより、合格率を全国第4位に引き上げたことを高く評価する。
- ・FD(※)を通して、導入教育の重要性についての認識を高めるなど、素養教育の充実に努めているが、学生による授業評価と同僚による授業評価にかい離が見られることから、分析等の取組が必要である。

※FD(ファカルティ・ディベロップメント)

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

(2) 適性のある優秀な人材の確保・育成

- ・模擬講義や実習体験コーナーなど、内容を工夫したオープンキャンパスを運営し、参加者数及びアンケート評価が前年度実績を上回ったことを評価する。

(3) 教育の質の改善

- ・年間10回のFD活動を行っており、各回の教員の参加率も高く、FDの推進に努めている。

(4) 学生への支援

- ・図書館の利用時間の延長や6年生専用の自習室の設置等、学生の修学環境の改善に努めている。
- ・平成22年度に開設した口腔保健学科の学生の就職支援体制の整備に努めている。今後、歯科衛生士として幅広いステージで活躍できるよう、就職先の開拓に努められたい。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・若手研究者の育成に力点を置いた研究費の重点配分を行っている。
- ・新たに歯工学連携による外部研究資金を獲得し、論文数、学会発表数も増加しており、取組の成果として評価する。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・e-learningを活用したリカレント教育について、歯科衛生士を含めた介護系職種向けの複数のコンテンツを開発している。
- ・診療科再編にあわせて、病診連携室を設置し、病診連携（病院と診療所が連携して症状に応じた医療を提供すること。）の機能強化や対象範囲の拡充等に努めた結果、患者数、患者紹介率が増加している。

4 業務運営

評価	2：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、安全管理体制への取組に遅れがあることから、2と評価する。
今後は、防災計画の策定、教職員の安全管理意識の向上など、一層の取組が必要である。
評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・安全対策及び事故防止対策について、関係委員会等を開催し、意識啓発に努めているが、防災計画の策定に至っておらず、早急な取組が必要である。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金について、前年度を上回る件数を獲得し、数値目標を上回る収入実績をあげていることを評価する。
- ・訪問診療の連携病院を新たに開拓し、件数、収益が増加している。

6 評価

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・自己点検・評価及び個人業績評価を実施している。
- ・独立行政法人大学評価・学位授与機構による認証評価において、「大学評価基準を満たしている」との評価を受け、さらに改善を要する点が無かったことを評価する。

7 情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・学校教育法施行規則改正により義務化された大学の「教育情報の公表」について、ホームページへの掲載を完了するなど、情報公開に努めている。

公立大学法人福岡女子大学

I 全体評価

1 総評

公立大学法人福岡女子大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、職場、家庭、地域等、社会の様々な分野において重要な役割を担うことができる優秀な女性を育成することを最も重要な使命としている。

法人化5年目である平成22年度の評価にあたっては、前年度の評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目8項目（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価、情報公開、大学改革の推進）について「順調に進んでいる」又は「おおむね順調に進んでいる」と評定した。

また、前年度の評価において進捗の遅れを指摘した教育に係る事項については、一部なお十分な進捗が図られていない項目も見受けられたが、指摘を踏まえて改善に取り組んでいることを確認した。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡女子大学の平成22年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

平成18年度に法人化し6年目を迎え、中期目標期間の最終年度に入っている。これまでの業務実績の分析・評価結果を踏まえ、今期中期目標の着実な達成に努められたい。

福岡女子大学は、平成23年4月に新たに国際文理学部を開設するなど改革に取り組んでいるところである。理事長のリーダーシップの下、全教職員が大学の理念の実現を目指し、一丸となって実効性の高い改革を進められることを期待する。

2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献、大学改革の推進に関する業務の実施状況については、おおむね順調に進捗している。

教育については、英語総合能力の強化、キャリア教育の充実、就職支援体制の強化に努めている。

一方で、管理栄養士国家試験合格率の低下、学生の授業アンケート方法の改善の遅れ等、一部年度計画を十分に実施していないと認められる項目があり、早急な取組が必要である。

大学改革の推進については、推薦入試の導入や一般選抜入試における外国人留学生枠の設置等を実施するとともに、海外学習及び海外からの留学生受入れのための制度並びに支援体制の構築を図っている。また、立命館アジア太平洋大学と連携協力に関する基本協定を締結しており、今後の連携の推進を期待する。

3 財務状況

財務の状況については、自己収入の増加、経費の節減の双方の取組において、順調に進捗している。

財務運営にあたっては、今後ともより一層の経営努力に努めるとともに、適切な予算管理と戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。

4 法人のマネジメント

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントの状況については、順調に進捗している。

今後とも、事務局機能の強化に努めるとともに、運営体制の改善、PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルの確立、情報公開の推進に一層取り組まれることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	---------------------------------

平成22年度の業務実績については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおりに進捗していることから総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

(1) 教養教育

- ・総合的な英語の授業の導入等に取り組み、英文学科においてTOEICテスト結果が向上している。
- ・ボランティア活動に対する単位認定について、平成22年度の単位取得者が0名であり、検証が必要である。

(2) 専門教育

- ・人間環境学部において、管理栄養士国家試験合格率が前年度に続いて低下し、平成22年度は全国平均を下回っていることから、合格率向上のための更なる取組が必要である。

(3) 大学院教育

- ・社会人学生に対して、継続して土曜開講を行う等、個々の就業状況に応じた修学の機会を提供している。

(4) 教員の教育能力の向上

- ・学生の授業アンケート回収率が低く、方法の改善が遅れており、早急な取組が必要である。

(5) 優秀な学生の確保

- ・入試広報活動に積極的に取り組み、学校訪問回数、入試説明会件数、オープンキャンパス等参加者数において昨年度までの実績を大きく上回っていることを高く評価する。

(6) 成績評価

- ・GPA制度(※)の効果的な運用に向け、要綱の改定、運用規則の制定を行っている。今後、学生指導に活かされるよう期待する。

※GPA制度 (GPA=グレード・ポイント・アベレージ)

授業科目ごとの成績評価を5段階 (A, B, C, D, E) で評価し、それぞれに対して、4, 3, 2, 1, 0 のグレード・ポイントを付与し、この単位あたり平均を出して、その一定水準を卒業等の要件とする制度

(7) 学習及び就職支援体制の整備

- ・ 補習授業の実施、教職員による企業訪問、就職支援員を中心にキャリアカウンセラーとも連携した就職相談・指導等、学生に対する支援に努めている。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ 学内外における共同研究数、学会発表数及び外部研究資金獲得件数・金額が目標を上回っており、取組の成果として評価する。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ 高校へ出張講義及び体験授業を積極的に実施し、回数及びアンケート評価が目標を上回ったことを評価する。
- ・ 人材バンクへの登録者数が大幅に増加し、利用実績にも結び付いたことを評価する。
- ・ 海外への研修参加学生数が、目標を上回ったことを評価する。

- ・海外からの留学生の受入数が、目標を大幅に上回ったことを高く評価する。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・産業医による職場巡視の実施、学内のヒヤリハット事例の周知等、学内の安全管理・危機管理の啓発に努めている。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・教員免許更新制の導入に伴う教員免許状更新講習を開講し、受講料収入を得ている。
- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金を獲得し、目標を達成している。

6 評価

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・自己点検・評価及び個人業績評価の実施と改善に努めている。
- ・独立行政法人大学評価・学位授与機構による認証評価において、「大学評価基準を満たしている」との評価を受けた。

7 情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ホームページの改訂、主要駅等での看板設置、新聞への広報掲載など、新学部に関する情報発信に積極的に取り組んだことを評価する。
- ・学校教育法施行規則改正により義務化された大学の「教育情報の公表」について、ホームページへの掲載を完了するなど、情報公開に努めている。

8 大学改革の推進

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・豪州エコビレッジでの体験学習プログラムの試行的実施や福津市との包括連携協定締結等、積極的な取組を行ったことを評価する。
- ・派遣留学生数及び受入留学生数が増加し、留学生受入支援に関わる学生チューターを拡充して、支援体制を整備したことを評価する。
- ・入学試験に関する情報を積極的に発信し、新学部への受験者数及び志願者数の増につながったことを取組の成果として評価する。
- ・新学部開設を記念して、記念シンポジウムを開催し、次代の女性リーダーを育成する新しい福岡女子大学を積極的にアピールした。
- ・立命館アジア太平洋大学と連携協力に関する基本協定を締結しており、相互の特色を活かした連携の推進を期待する。

公立大学法人福岡県立大学

I 全体評価

1 総評

公立大学法人福岡県立大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、人間社会学部と看護学部の連携のもと、関連する分野に関する幅広い視野を持ち、保健・医療・福祉の現場で中核となって活躍できる資質をもった優秀な職業人を育成することを最も重要な使命としている。

法人化5年目である平成22年度の評価にあたっては、前年度の評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目7項目中1項目（社会貢献）について、「特筆すべき進捗状況にある」と評定、他の6項目（教育、研究、業務運営、財務、評価、情報公開）について「順調に進んでいる」と評定した。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡県立大学の平成22年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

平成18年度に法人化し6年目を迎え、中期目標期間の最終年度に入っている。これまでの業務実績の分析・評価結果を踏まえ、今期の中期目標の着実な達成に努められたい。

福岡県立大学は、これまでに地域と連携した取組で着実な成果をあげてきており、社会貢献に関しては、平成22年度の業務実績においても計画を上回る取組等が多数認められたところであり、特筆に値する。

今後とも地域との連携のもと社会貢献活動等に積極的に取り組むとともに、大学の理念の実現を目指して、教育・研究をはじめとした業務の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献に関する業務の実施状況については、順調に進捗している。

教育について、「就業力向上を目指す社会貢献支援プログラム」が文部科学省の平成22年度大学生の就業力育成支援事業に選定されており、教育内容の充実に積極的に取り組んでいる。

社会貢献については、大学の知的資源を活用した各種の健康教室や資格・免許保持者へのリカレント教育、不登校・ひきこもりサポートセンターにおける相談事業及び教員対象研修事業、社会貢献・ボランティア支援センターにおける社会貢献活動支援等に積極的に取り組んでおり、地域に貢献する大学としての認知度の向上に繋がっていることを高く評価する。

福岡県立大学の特色となる人間社会学部と看護学部の連携についても、教育プログラムの充実を図るなど、着実な進捗が認められるところであり、今後の一層の発展に期待する。

3 財務状況

財務の状況については、自己収入の増加、経費の節減の双方の取組において、順調に進捗している。

財務運営にあたっては、今後ともより一層の経営努力に努めるとともに、適切な予算管理と戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。

4 法人のマネジメント

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントの状況については、順調に進捗している。

今後とも、事務局機能の強化に努めるとともに、運営体制の改善、PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルの確立、情報公開の推進に一層取り組まれることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と

評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

(1) 教養教育の充実

- ・学生の視点を取り入れた教養演習テキストを改訂出版するなど、教養演習の改善・実施に努めている。

(2) 専門教育の充実

- ・人間社会学部において、実践的体験学習機会の導入科目が24科目に増加し、学生による授業評価においても高い評価を得ている。
- ・看護学部において、独自性を打ち出したカリキュラムの策定等、工夫に努めているが、学生の成績が低下しており、向上のための取組が必要である。
- ・両学部の学生が一緒に学習する教育プログラムを単位認定科目として実施し、学生の成績も良好であったことを取組の成果として評価する。
- ・日本臨床心理士認定協会指定大学院第1種校として運営を開始した。
- ・「就業力向上を目指す社会貢献支援プログラム」が文部科学省の平成22年度大学生の就業力育成支援事業に選定されており、キャリア教育の充実に積極的に取り組んでいる。

(3) 教員の教育能力の向上

- ・両学部が一体となったFD（※）活動強化の取り組みを積極的に行い、教員参加率の向上や学生による授業評価の改善が見られたことを評価する。

※FD（ファカルティ・ディベロップメント）

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

(4) 学生の確保

- ・オープンキャンパス、入試説明会、高校訪問等、入試広報活動の取組を積極的に実施している。

(5) 成績評価

- ・社会福祉士、精神保健福祉士、看護師及び保健師の国家試験合格率について、高い水準を達成しており、取組の成果として評価する。

(6) 学生への支援

- ・1、2年生を対象としたキャリア形成支援講座の実施、キャリアサポートセンターでの講座開催等、就職支援の強化に努めている。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・附属研究所において、生涯福祉研究センター（人間社会学部）、ヘルスプロモーション実践研究センター（看護学部）の独自の研究プロジェクトや両学部連携による共同研究プロジェクトに積極的に取り組み、数値目標を上回る実績をあげている。
- ・外部研究資金への応募件数、獲得件数がいずれも数値目標を上回っており、取組の成果として評価する。

3 社会貢献

評価	5：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
----	---------------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施するとともに、目標を大幅に上回る取組や中期計画に掲げる事項以外にも社会貢献に関する積極的な取組が認められたことから、特筆すべき進捗状況にあると判断し、5と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・不登校・ひきこもりサポートセンターにおいて、教員対象の研修回数及び参加者数が目標を大幅に上回り、学生による県大子どもサポーターの派遣事業やキャンパススクールの受入等の活動も活発に行われていることを高く評価する。
- ・大学の知的資源を活用し、地域住民の健康の向上のための各種健康教育事業や資格・免許保持者等に対する講習会、シンポジウム等の開催、生涯福祉研究センターにおける福祉・教育・健康の相談事業等に積極的に取り組んでいることを評価する。
- ・社会貢献・ボランティア支援センターにおいて、学生による社会貢献活動の支援に積極的に取り組んでいることを評価する。
- ・アジアの大学との学術交流に取り組み、新たに韓国の三育大学校と交流協定締結に至ったことを評価する。
- ・田川市との包括連携協定を締結しており、更なる地域貢献に向けた取組の推進を期待する。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・実習事故の防止や感染症及びインフルエンザ対策、学生の健康管理の強化等、安全管理体制の充実に努めている。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、数値目標を大幅に上回る収入実績をあげていることを高く評価する。
- ・退職教員の後任を若手教員で補充するなど人件費抑制に努めた結果、数値目標を上回る実績をあげている。
- ・メール利用の促進により、通信費の節減を図り、数値目標を上回る実績をあげている。

6 評価

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・自己点検・評価及び個人業績評価の実施と改善に努めている。
- ・独立行政法人大学評価・学位授与機構による認証評価において、「大学評価基準を満たしている」との評価を受け、さらに改善を要する点が無かったことを評価する。

7 情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

平成22年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・学校教育法施行規則改正により義務化された大学の「教育情報の公表」について、ホームページへの掲載を完了するなど、情報公開に努めている。